


個人投資家様向け会社説明会

2023年2月



 **室町ケミカル株式会社**
(証券コード：4885)

- 室町ケミカルの概要
- 各事業内容と成長戦略
- 中期経営計画
- サステナビリティへの取り組み

室町ケミカルの概要



社名	室町ケミカル株式会社
設立	1947年7月（創業：1917年1月）
本社所在地	福岡県大牟田市新勝立町1丁目38番5
資本金	143百万円（株主数 3,658名） 2022/5末
従業員数	197名（正社員） 2022/5末
役員	代表取締役社長 青木 淳一 他 常勤取締役 6名 社外取締役 3名（監査等委員会設置会社）
拠点	工場：本社工場 / つくば工場 営業拠点：東京支社 / 大阪営業所 開発拠点：埼玉開発センター
上場市場	東証 スタandard市場（証券コード：4885）

福岡県大牟田市（本社・工場）



創立から100年以上、設立から76年

明治期（1880年頃） 福岡県須恵町において「須恵目薬」の製造・販売開始

1917年 福岡県直方市に「大洋製薬合資会社」を設立

1944年 戦時企業整備（県内の製薬会社を1社にする制度）により会社を解散し、一時廃業

1947年 戦後、「鉄ペプトン製薬有限公司」として再設立

1955年（ムロマチテクノスガイオン交換樹脂、各種工業薬品、医薬品原料、測定機器等の輸入販売開始）

1971年 ムロマチグループに参入

1981年 錠剤型健康食品事業開始

1990年 イオン交換樹脂の再生処理事業開始

1996年 福岡県大牟田市に本社工場を新築移転



1998年 『室町ケミカル株式会社』に社名変更

2006年 ゼリー健康食品製造工場操業開始

2014年 『東進ケミカル株式会社』を100%子会社化
ムロマチテクノス株式会社を吸収合併

2017年 東進ケミカル株式会社を吸収合併
大牟田本社に医薬品合成工場を新設

2018年 天洋社薬品株式会社を吸収合併

2020年 埼玉県和光市に埼玉開発センターを開設

2021年 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場に上場

「医薬品」「健康食品」「化学品」の3事業

医薬品 事業

医薬品原薬（薬の有効成分）
の製造・販売



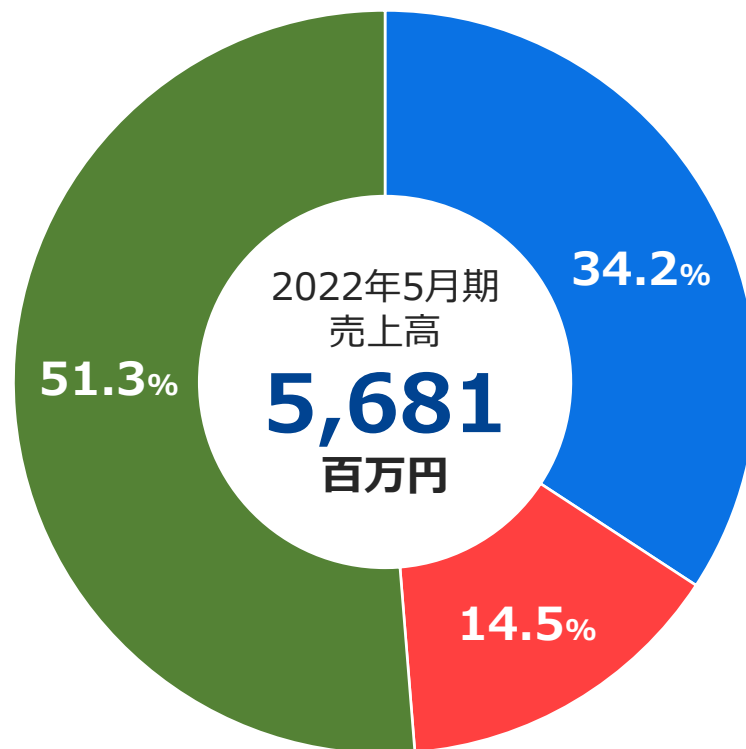
原薬の製造



原薬の精製・異物除去



海外原薬の輸入販売



化学品 事業

液体から不純物を取り除く
液体処理製品の販売・加工



イオン交換樹脂



分離膜



水処理装置



イオン交換樹脂再生設備

健康食品 事業

スティックゼリータイプなどの
健康食品の企画・製造



スティックゼリー



Tパウチゼリー

現在

創業

1917
医薬品の
製造販売



1971
医療用医薬品
の製造



1981
健康食品の
製造



1999
医薬品原薬
製造



2006
ゼリー健康食品
製造



2014
医薬品原薬
合成

**健康食品
事業**
・スティックゼリー
健康食品の企
画・製造

**医薬品
事業**
・医薬品原薬の
合成・加工
・医薬品原薬の
輸入販売

**化学品
事業**
・イオン交換樹脂、
分離膜の販売・
加工
・液体処理装置
の設計・製造
・AdBlue®製造
・機能性接着剤
等の製造・加工

1955
医薬原料・原
薬の輸入販売



1972
イオン交換樹脂
の加工



1990
イオン交換樹脂
再生処理

2011
AdBlue®
受託製造

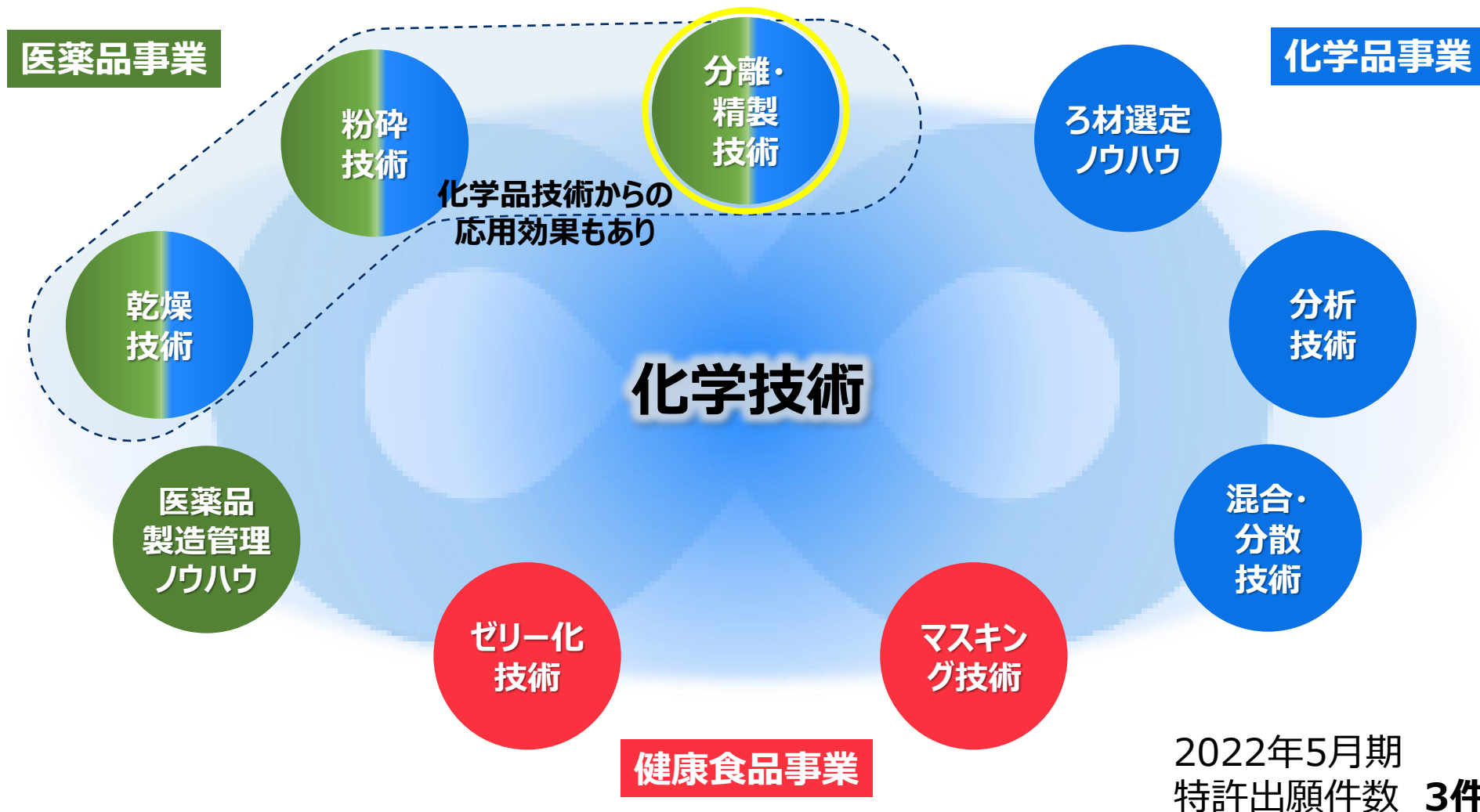
1955
イオン交換樹脂、
工業薬品等
の輸入販売



1986
機能性接着剤
製造

2016
インキ・機能性ペースト
受託加工

長年培ってきた化学技術



< パーパス >

「健康」と「環境」をテーマに、社会へ貢献する



< 経営理念 >

私たちは人々との出会いを大切にし、
常に**新たなチャレンジと実現化の努力**により生きがいと豊かさを提供し、
健全な発展を通して社会に貢献する経営を目指します。

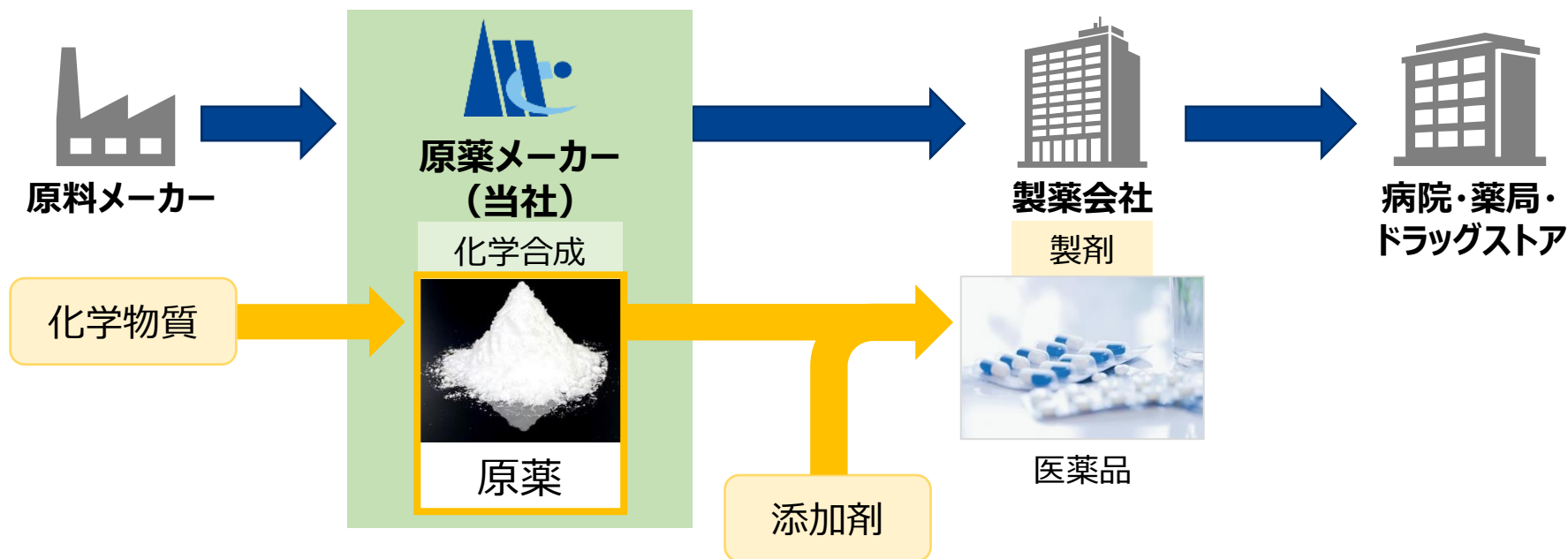
各事業内容と成長戦略



原薬の輸入販売・製造・加工

原薬とは… 医薬品の有効成分

<医薬品ができるまで>



当社の主力原薬の効能

腎不全に伴う高カリウム血症

ヘルペスウイルス感染症

てんかん

商社機能とメーカー機能の両方を持つ

原薬の輸入販売 (商社機能)

ヨーロッパからアジアまで幅広い調達ネットワークで顧客に安定した供給が可能



原薬の製造・加工 (メーカー機能)

合成による原薬の製造
原薬の精製、粉碎、異物除去等の加工



商社×メーカーのシナジー効果

日本の品質基準に
満たない原薬



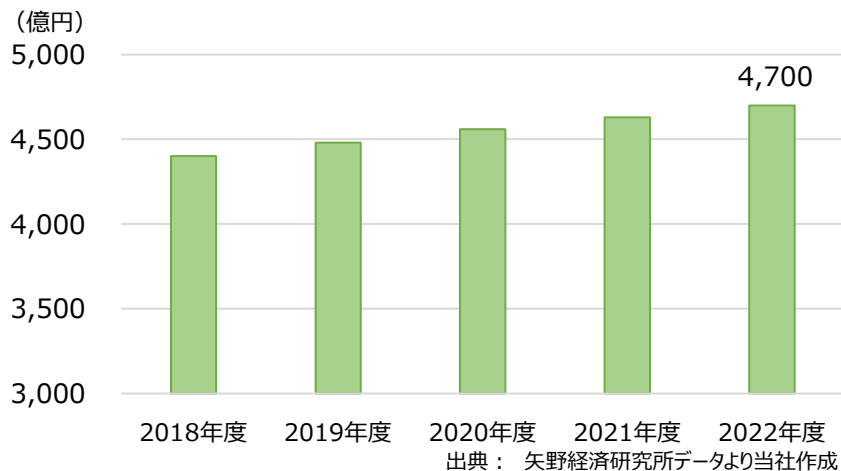
高付加価値化

加工することで品質を向上
輸入元メーカーへの品質向上サポート

安価かつ高品質な原薬の安定供給

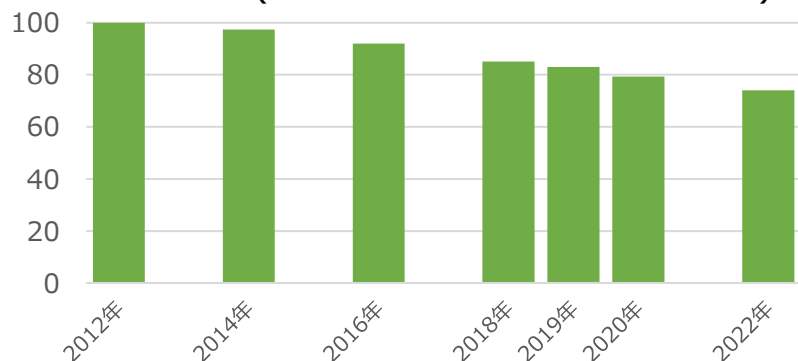
医薬品原薬市場は堅調に推移、品質確保と安定供給の課題

医薬品原薬・中間体市場



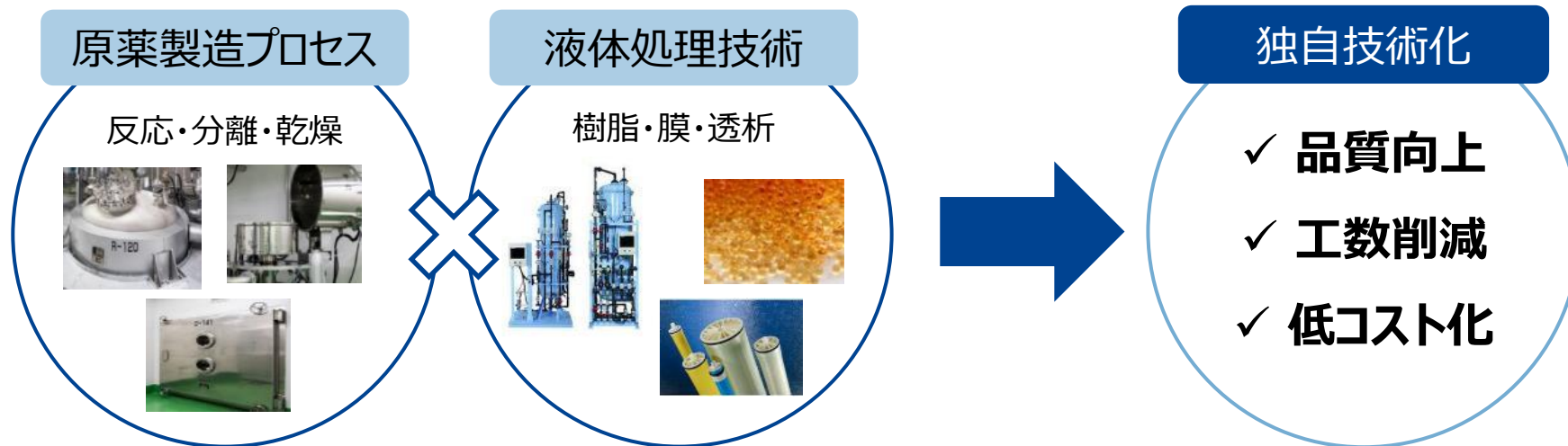
- 医薬品原薬市場は堅調に推移
- 昨今の品質問題やカントリーリスクの高まりによる安定供給の要望
- 薬価改定（政府による定期的な医療用医薬品価格の見直し）の影響

薬価改定率(2012年の薬価を100とした場合)



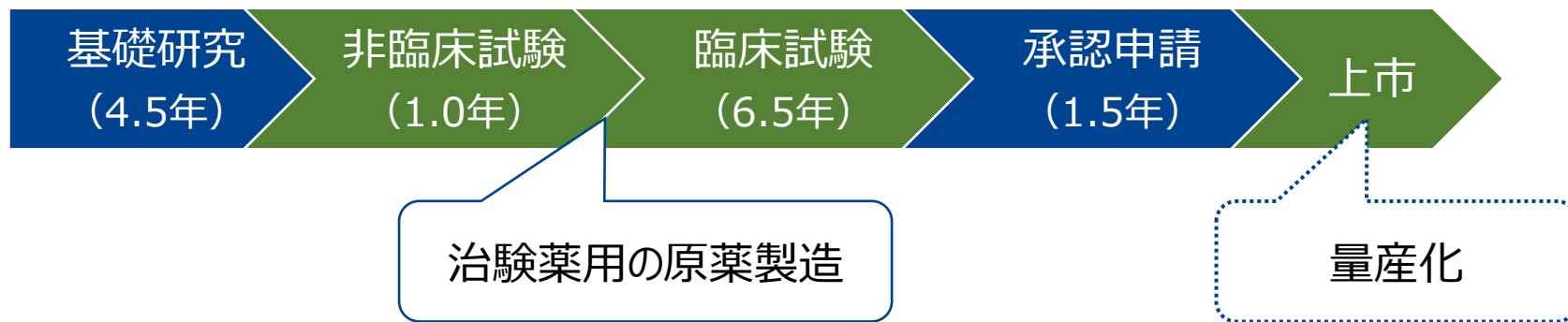
-
- 安価で高品質な調達先の開拓
 - 国内製造の強化

分離・精製技術を活かした開発促進



長期的な拡大を期待した新薬向け案件の獲得

＜製薬メーカーの新薬開発フロー＞（平均所要期間）



スティックゼリーの健康食品の企画・製造



スティックゼリーの特徴・メリット

- 美味しく食べられる → 続けやすい
- 水が必要ない為、手軽に摂取できる
- 適切な分量を一本で摂取できる
- 持ち運びがしやすい

製品企画から量産まで一貫対応可能

美容にいい健康食品を販売したい

●●の成分が入った製品を作りたい



健康食品メーカー
通販会社など

製品設計依頼

量産 ← 試作 ← レシピ開発 ← 製品企画



マスキング技術を駆使し、おいしい健康食品を考案

マスキング技術とは・・・ 味や匂いを包み隠す技術

健康・美容成分



苦み・匂いなど、
そのままでは食べづらい

味・香り・食感・色など

処方組みのノウハウにより
食べづらさを軽減

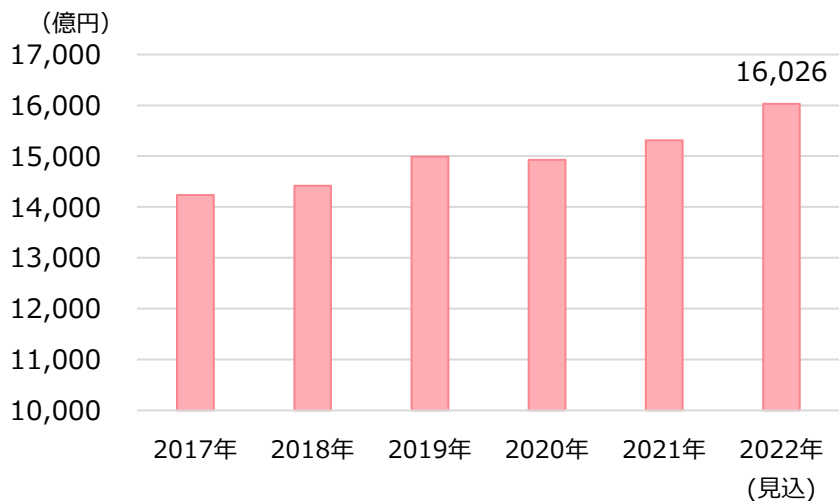
おいしい健康食品へ



蓄積されたノウハウで顧客の要望を実現

健康食品市場は緩やかな伸び、大きく需要が伸びた効能も

健康志向食品の国内市場



出典：富士経済データより当社作成

- 市場は引き続き拡大傾向
- 新型コロナウイルスの影響から回復の兆し
イベントや運動機会の増加によってエナジードリンクやプロテイン飲料が好調
- コロナ禍の健康不安や消費者の高い健康意識を背景に伸長が見込まれる分野もある
 ストレス緩和・睡眠サポート
 生活習慣病予防
 栄養補給

訴求効能別の市場規模

訴求効能	2021年	2022年見込	2021年比
全体	1兆5,311億円	1兆6,026億円	104.7%
ストレス緩和・睡眠サポート	309億円	562億円	181.9%
脂肪・コレステロール値改善	2,383億円	2,759億円	115.8%
基礎栄養チャージ	865億円	935億円	108.1%

出典：富士経済データより当社作成

- 需要が増す分野を中心に、積極的な製品展開

高齢者向け市場への参入

- フレイル化(*)を防止するために手軽にカロリーやたんぱく質を補える食品が求められている
- おいしく続けることができ、飲み込みやすいゼリーは、高齢者の手軽な栄養補給として適している

*フレイルとは
健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のこと

<新包装形態 Tパウチ・ショット>



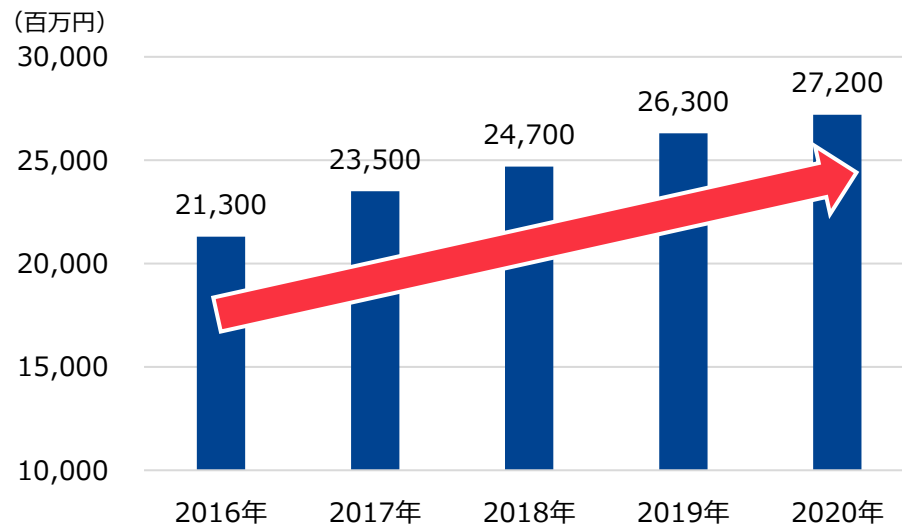
スティックタイプ
5~30g



Tパウチ・ショット
30~100g

**従来のスティックタイプに比べ充填量が多い
摂取が必要な量が多い成分にも対応が可能となる**

栄養補給食品（高齢者向け）市場規模推移



出典： 矢野経済研究所データより当社作成

日本人高齢者のフレイル割合

フレイル	8.7%
プレフレイル	40.8%
健常	50.5%

東京都健康長寿医療センター調べ

液体処理関連製品の販売・加工

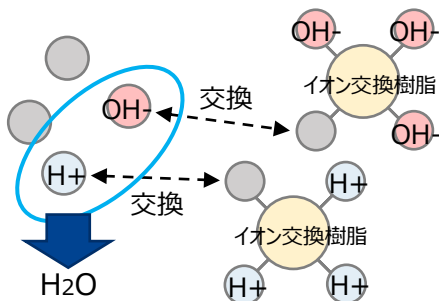
<液体処理の例>

不純物を含む水

…水道水、井戸水など

純水 (H₂O)

イオン交換樹脂で純水ができる仕組みのイメージ



イオン交換樹脂

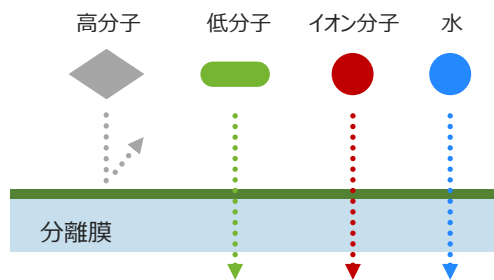
液体からイオン成分を取り除き、代わりに元々自分が持っているイオンを離すことで、イオン交換を行う樹脂。



分離膜

分離膜が持つ細孔を利用して、液体中の微粒子やイオン成分などを取り除く。

分離膜で成分を取り除く仕組みのイメージ



※細孔の大きさによって取り除ける物質が異なる

イオン交換樹脂・分離膜の使用例

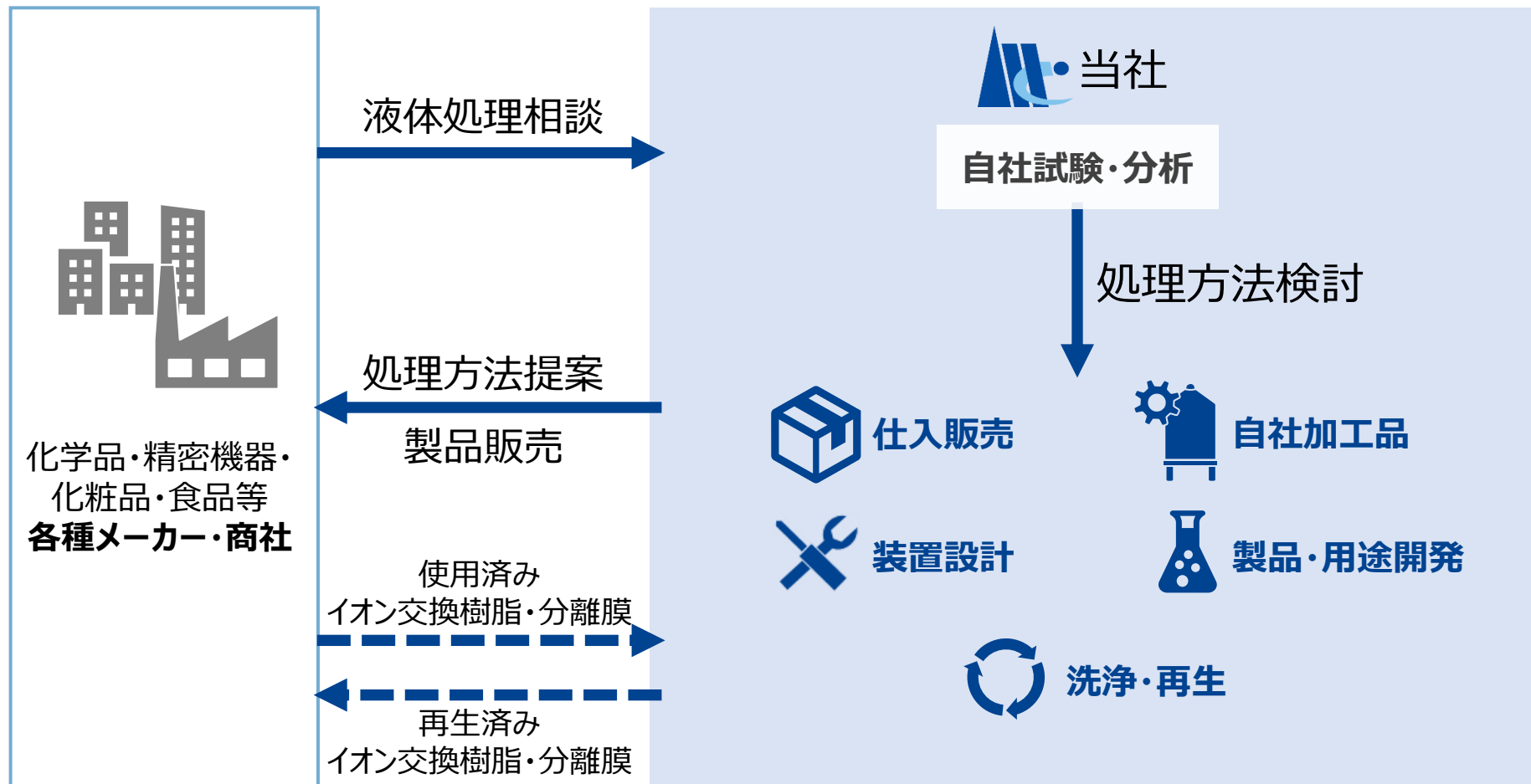
<使用イメージ>



製造現場をはじめ様々な場所で使用されている

- ・電子部品の洗浄
- ・医薬品、食品などの製造用水
- ・機械の冷却水
- ・工場の排水処理
- ・上下水の処理
- ・液体中の特定成分の除去 など

液体処理のソリューションサービス



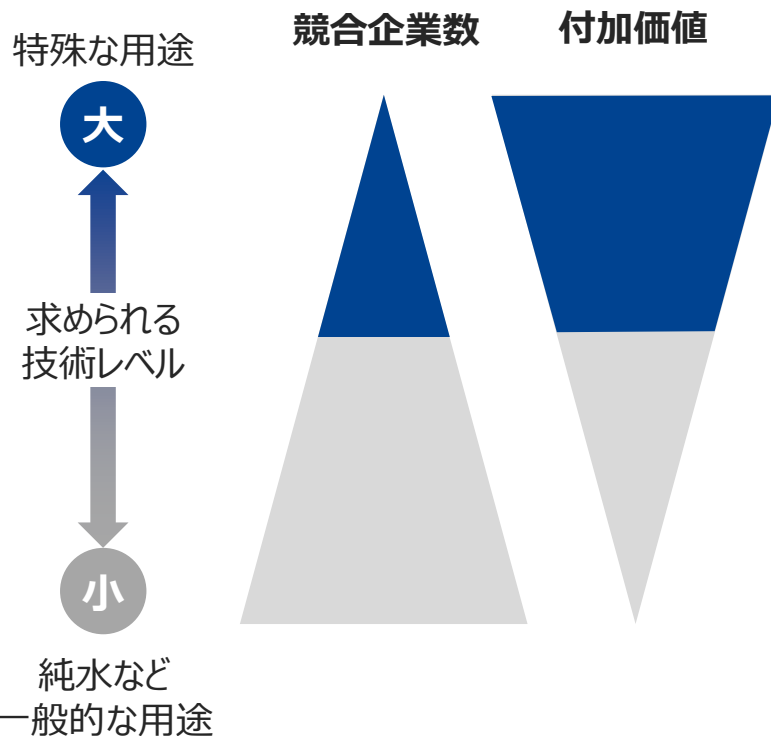
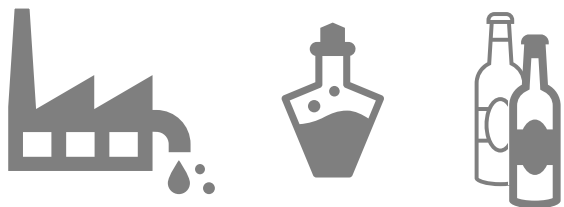
長年のノウハウにより、最適な液体処理方法を提案

特殊な液体処理にも対応できる知識とノウハウ

特殊な液体処理の例

- ・排水からの有害物質除去
- ・薬品の精製
- ・飲料からの特定成分の除去
- ・溶液の脱色
- ・廃水からの有価金属回収
- ・めっき液の再生

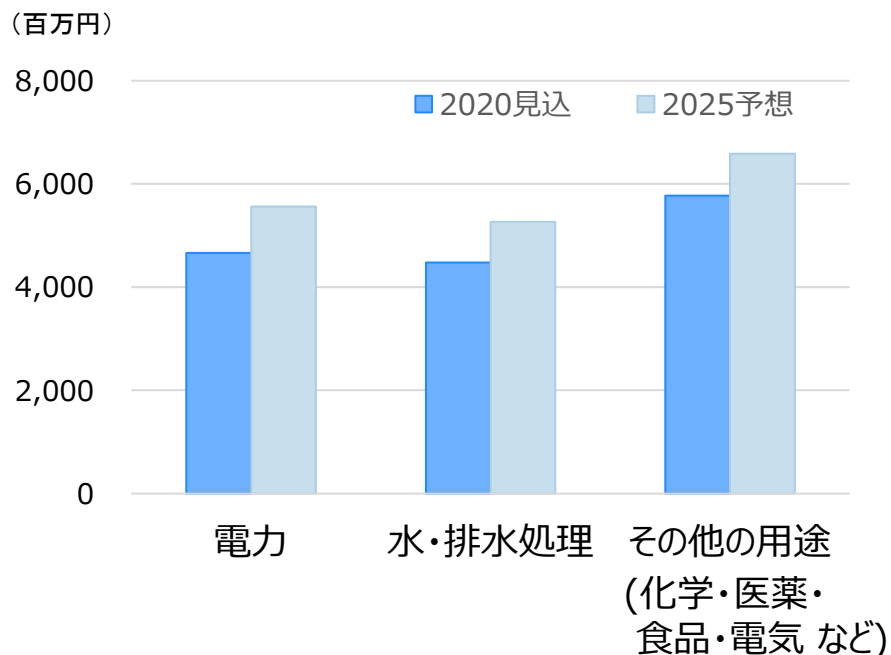
など



当社の技術を活かす高付加価値分野

イオン交換樹脂の需要は様々な業界で緩やかに増加

イオン交換樹脂の用途別国内市場



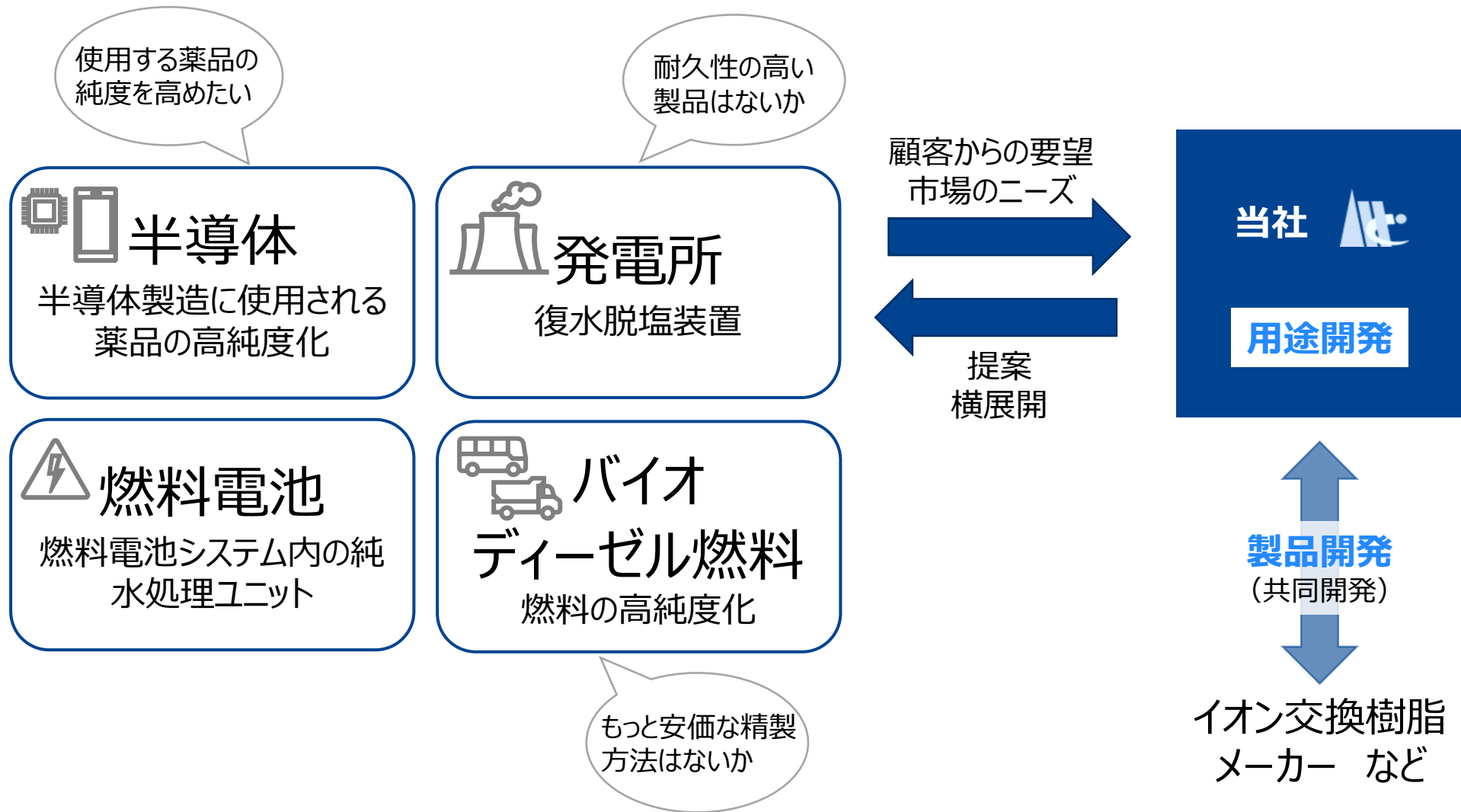
- 電力用途**
 電力消費の増加に対応するために、既存の発電設備の増強・改造が求められる。
- 排水処理用途**
 環境規制の高まりに伴い、より高度な排水処理への需要が高まる。サステナビリティへの関心も高まり、排水の再利用なども活発化。

この他にも、薬品の高純度化、特定の成分除去などで様々な業界での需要が見込まれる

- 成長市場で求められる用途に応じた製品開発強化

出典：global industry analysts incより当社作成

成長市場への新製品投入や用途開発の促進



分離膜を用いた新たな精製技術（5社※2共同開発）

バイオディーゼル燃料とは

パーム油・菜種油等の植物由来の油や各種廃食油等から製造される軽油代替燃料。

自動車、船舶等軽油の代替として、エンジン・モーター等の仕様を変更することなく、軽油と混合もしくはバイオディーゼル燃料100%でも使用可能。



精製前

不純物の影響で着色している
マフラー目詰まりなど
不具合の原因



精製装置

特許出願中



精製後

不純物を除去して
無色透明に



分離膜を
精製に使用

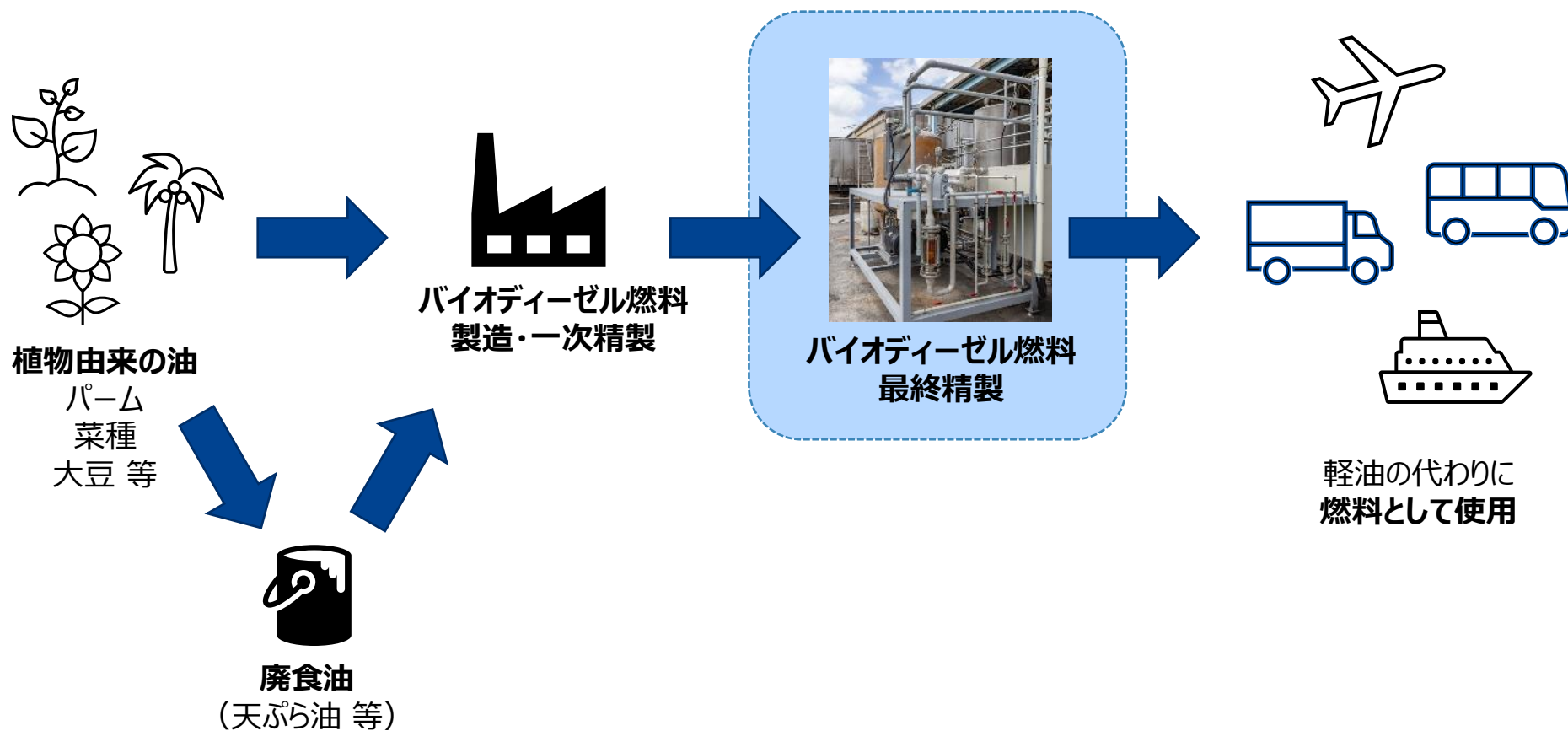
従来技術と新技術の違い

	従来技術 (蒸留法)	当社開発技術 (膜精製)
高純度	エステル分 94%	エステル分 99%
高収率	75%	90%
安価	加熱するための エネルギーコストが 発生	加熱する必要なし
安全	液温 200~300℃	液温 50℃以下

*1 2022年8月22日現在、ポリプラ・エボニック株式会社調べ

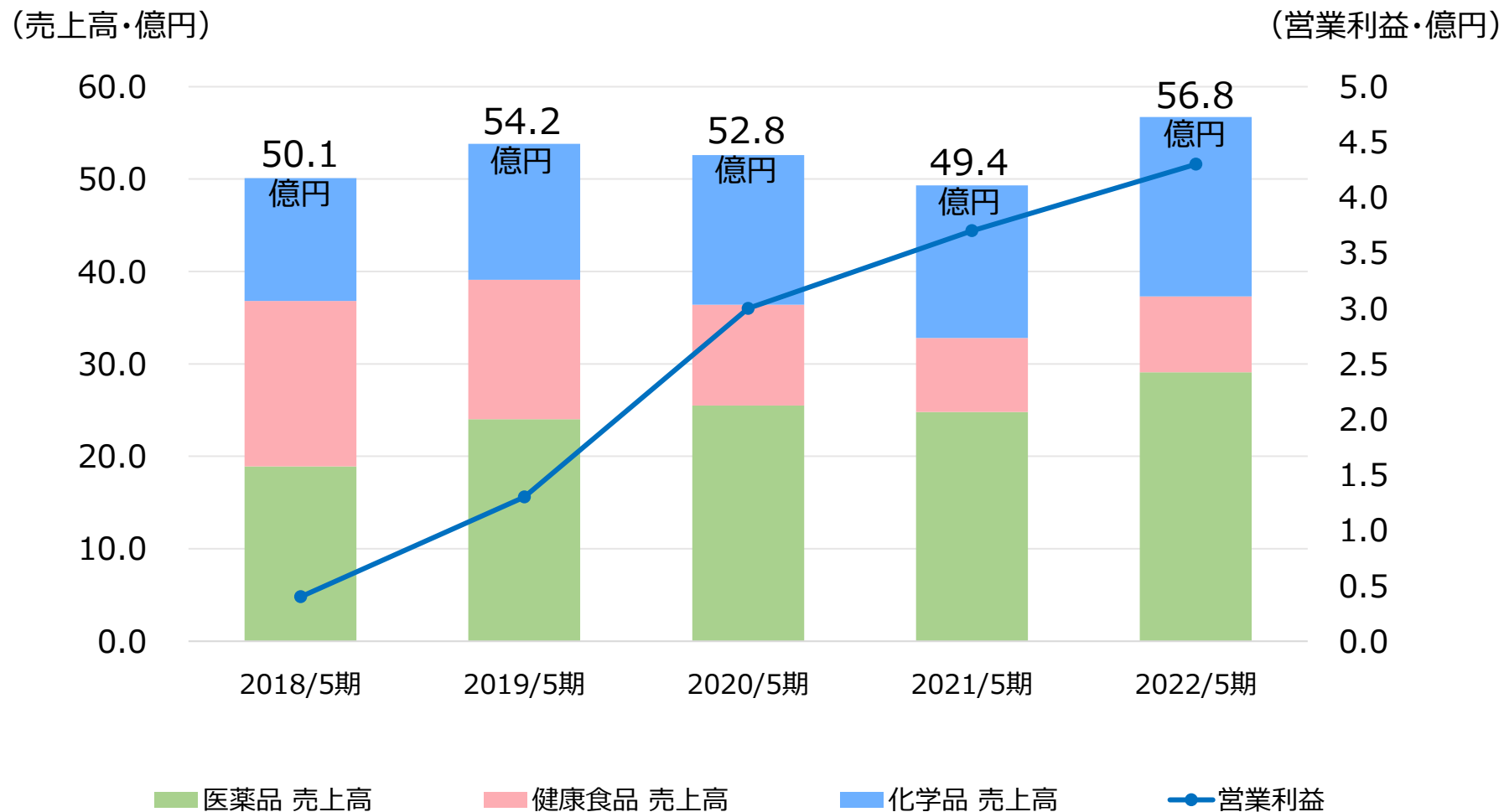
*2 水光技研株式会社、有限会社健製作所、RITA株式会社、ポリプラ・エボニック株式会社、当社

- 運輸業界中心に、バイオディーゼル燃料を製造する企業など数十件の引き合いをいただき具体的な商談へとすすめている



中期経営計画





VISION 2032

豊富なノウハウと確かな技術を活かし、
顧客の問題を解決するオンリーワン企業を目指します

売上高**100**億円

営業利益率10%以上

FY2029~FY2032

継続成長
オンリーワン企業

売上高**80**億円

営業利益率9%以上

FY2026~FY2028

既存事業の収益力強化
新領域の収益化

売上高**70**億円

営業利益率8%以上

中期経営計画2025

(FY2023~FY2025)

成長に向けた取り組み

開発強化と収益性改善

新規案件への生産設備投資と既存設備の更新投資

コンプライアンス体制強化と品質保証強化

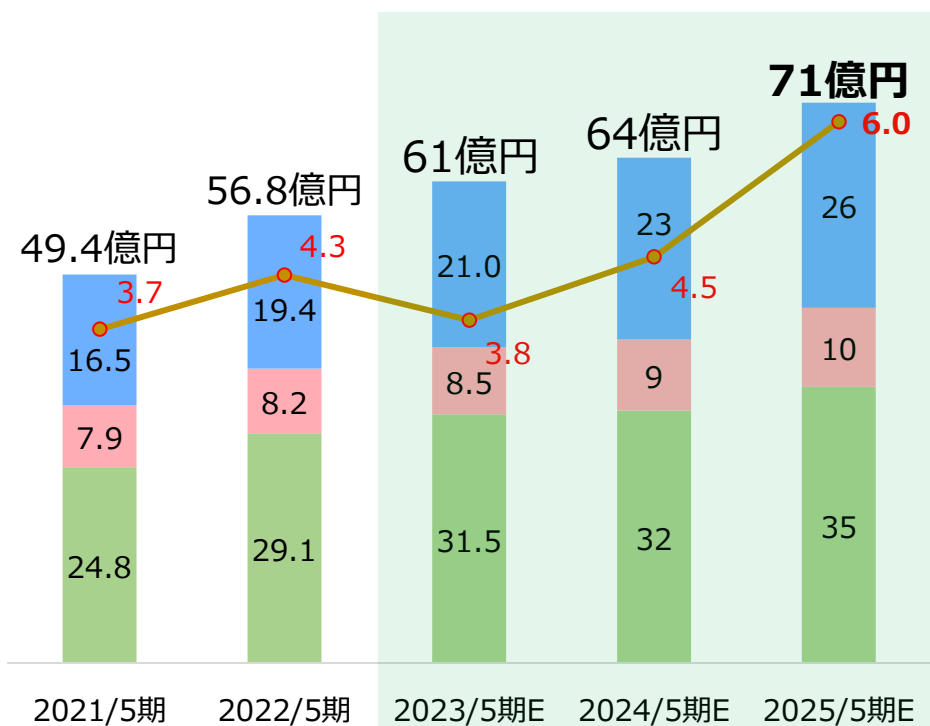
売上高：71億円
(対FY22：+25.0%)

営業利益：6億円
(対FY22：+37.2%)

営業利益率：8.5%
(対FY22：+0.8P)

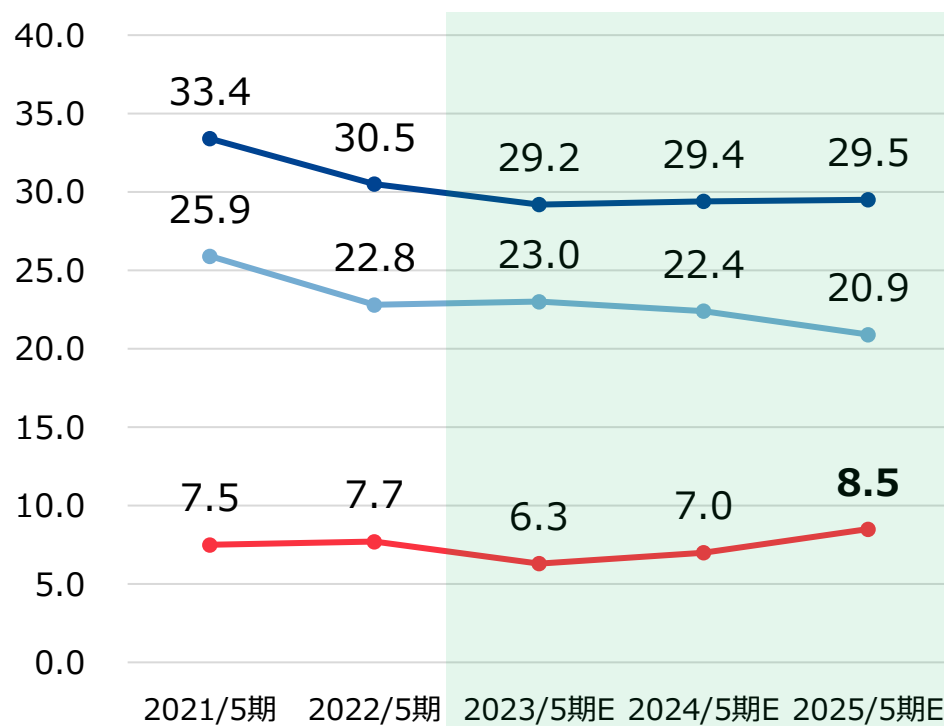
売上総利益率を維持しつつ、売上を伸ばすことで、営業利益増加を図る。

売上高・営業利益 計画 (単位：億円)



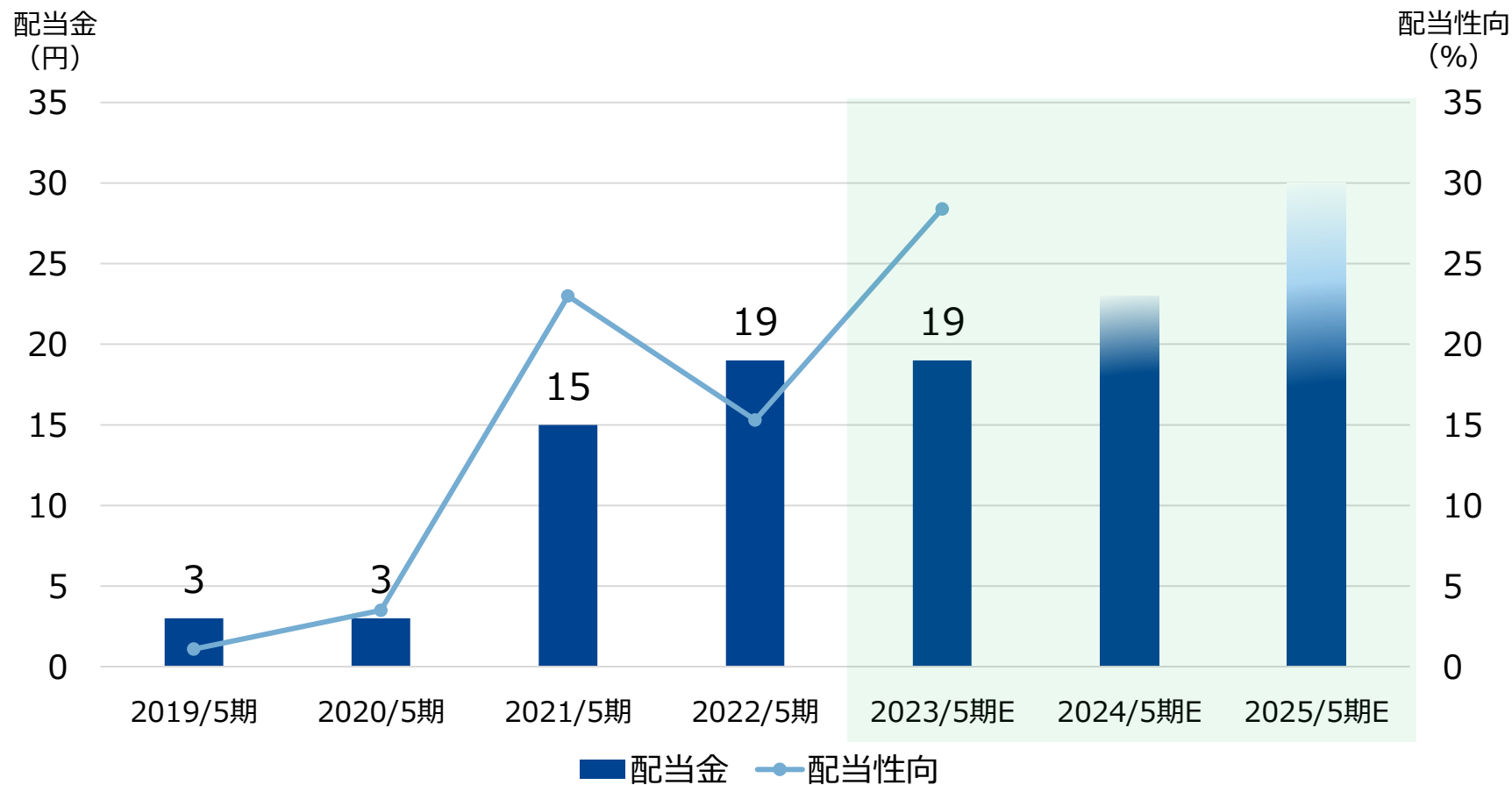
■ 医薬品 売上高 ■ 健康食品 売上高 ■ 化学品 売上高 ● 営業利益

各利益率 計画 (単位：%)



● 売上総利益率 ● 販管費比率 ● 営業利益率

～ 配当性向20%以上を目標に業績に応じた安定的な配当方針～



- 輸入原薬の売上の伸びが大きく、増収
- 製品・商品の売上構成変化や原材料費の高騰などにより、原価率は上昇
- 販売費及び一般管理費については、前期比で増加しているものの、当初計画通りで推移

(百万円)

	2022/5期 第2四半期		2023/5期 第2四半期		前年同期比	
		構成比		構成比		増減率
売上高	2,807	100.0%	3,121	100.0%	313	11.2%
売上原価	1,852	66.0%	2,226	71.3%	374	20.2%
売上総利益	955	34.0%	894	28.7%	△60	△6.4%
販売費及び 一般管理費	631	22.5%	668	21.4%	37	5.9%
営業利益	323	11.5%	225	7.2%	△97	△30.3%
経常利益	323	11.5%	207	6.7%	△115	△35.8%
当期純利益	261	9.3%	149	4.8%	△112	△43.0%

- 上期・下期での売上のずれによって第2四半期の業績予想は修正したものの、通期は概ね当初予想通りに進捗

	2023年5月期 通期	前期比
業績予想の修正	無	
売上高	6,100百万円	+7.4%
営業利益	380百万円	▲13.1%
経常利益	360百万円	▲14.9%
当期純利益	250百万円	▲45.2%
配当金	19.0円	
配当性向	28.4%	

サステナビリティへの取り組み



ESG	主な取り組み		関連する 17のゴール
S	<p>【医薬品事業】 高品質な原薬の安定供給</p> <p>【健康食品事業】 おいしく続けられる健康食品の提供</p>	<p>原薬や健康食品の販売を通じ人々の健康へ 貢献</p>	
E	<p>【化学品事業】 液体処理の課題解決 燃料電池分野・バイオディーゼル燃料精 製装置への製品提供 イオン交換樹脂・分離膜の再生</p>	<p>水処理部材の提供を通じ有害物質の排出抑 止へ貢献</p> <p>燃料電池やバイオディーゼル燃料分野への製 品提供を通じクリーンエネルギー普及に貢献</p> <p>使用済イオン交換樹脂や分離膜の再生処理 を行い再利用することで廃棄物の削減に貢献</p>	
S	<p>【人材育成・従業員満足度の向上】 人事評価制度の更新 教育訓練の充実</p>	<p>人事評価制度の見直しや教育訓練の更なる 充実を通じて従業員満足度の向上を図る</p>	
S	<p>【地域貢献】 KBC水と緑のキャンペーン協賛 おおむた『大蛇山』まつり協賛</p>	<p>地域活動への協賛を通じて、地元福岡・大牟 田の地域貢献活動を支援</p>	
G	<p>【品質管理体制】 法令遵守体制、データインテグリティ対応</p>	<p>医薬品の品質、安全性を確保するため、品質 管理体制の維持・強化</p>	



<https://www.muro-chem.co.jp/>

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
室町ケミカル株式会社 経営企画室
E-mail : ir-kikaku@muro-chem.co.jp

＜本資料取扱上の注意点＞

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、経営環境の変化等により、予告なしに変更される可能性があります。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。

掲載の内容については未監査の数値も含まれており、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報やその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料は投資家の皆様に当社をご理解いただくことを目的として当社が作成したものであり、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。